

新角琴歌  
官邸側の意  
向言ふる

政治権力下に政治法の政治的公平性をめぐる新たな解釈が加えられた経緯について、磯崎義輔は自相矛盾する口、朝日新聞の取材に、自分が検査官に働きかけるなかで新解釈が追加されたと説明した。政治的公平性の解釈が追加された背景についても、立憲民主党的小西洋介は院議員が公表した政府の内部文書とされる資料に記載がある。

新的な解釈が加えられた経験についての取材で、自分が経営者に働きかける的公平性の解釈が追加された質問で、時代は総務課題のやりとりがなされ、した政府の内部文書とされる資料に記載された内容は、1955年5月、商事草業組合(当時)が国交省及び「一つの団体でも、極端な場合は政治的公平を確保」してくるとは認められない」と新たな解釈を示す。16

磯崎元補佐官放送法めぐり

（現安道透）と  
で初登場。中国の  
礦崎氏は絶  
の大旱が適切に  
し、後日實在者  
し、これがいかにか  
「藏回」とねた  
（総務省）に報  
期では分からぬ

「元々の説明を  
しておいたが、  
おもむろに腰を下す  
と、腰の筋肉が  
痛くなる。」

佐官に就任してからも、  
一方、松下の園議事會  
の小西賀がつづいて「總體  
であるかね」と、「總體  
た内容がわからぬ」と  
確認を要す。

19年の参  
本昭明総務  
後見で、  
公表した文  
務省作成の規  
は申し、  
説明。記録

た  
小西  
香齋會  
から授  
て文  
見解を  
首相は  
定かで  
から申  
いな  
な答弁  
からも  
され  
上け  
相は  
立憲  
相補  
選舉

「正確性」がない文書といふことを述べた。しかし、筆の運びは、さうした文書の構成をもつてゐる。

経験でてるてとても明確とはな

「文體の更  
大いに疑問  
と認した。」  
と認めた。」  
文體にある  
肯定。小西氏  
なければ議  
論の間違い  
た。

が「仮想構造」  
を構成する  
「結構」として  
の意味を解説す  
る。左側は「  
安藤龍太郎」

磯崎氏は取材に「曾公相  
佐官の在任中に、總務者の  
局長と政治的公平性に関する  
も放逐法の解釈について意  
見交換し、補充的説明をす  
るに至ったのは事実」と話

した。内部文書に示されていた、新解釈を加える一連の経緯をおおむね認めた。

文部省は、解釈追加をめぐって磯崎氏が総務省幹部に「悔と経理が一人で決め

く、正確かどうかは同ども言えない」と説明した。政府は政治的公平性について、「一つの番組ではなく、放送事業者の番組金体をみて判断する」と解釈し

く、正確かどうかは同ども言えない」と説明した。政府は政治的公平性について、「一つの番組ではなく、放送事業者の番組金体をみて判断する」と解釈し

ら「西輪への介入」「放送事業者の番組を招へい」といった批判が相次ぎた。

磯崎氏はこの日、自身のソーシャルにも解釈追加の経緯について説明。「政府解